

5回一時勝ち越し

満塁機 五十嵐意地の一撃

強打を武器にノーシードから勝ち進んだ会津北嶺は、聖光学院の主戦大嶋悠斗を打ち崩せなかった。五回に一時勝ち越しの右前打を放った主将の五十嵐悠斗は「練習の全ては出し切れた」と大粒の涙を拭いた。

シード校が擁する本格派右腕を攻略してきた。直球を力強く振り抜いた。打球は一、二塁間を走り、貴重な勝ち越し打となった。だが六回以降、尻上り回。選手は諦めた。代打の1年生飯島統生が2死から中前打で出塁する意地を見せた。初優勝を放つ。

はならなかったが、選手は確かな足跡を刻んだ。飯島は「先輩たちのために必ず甲子園に出場する」と宣誓を誓った。

【会津北嶺・聖光学院 5回表、会津北嶺無死満塁、五十嵐が右前打を放つ】



北嶺 最後まで強打

2年関根堂々の力投

先発し2失点、来年こそ甲子園

会津北嶺の2年生関根恒喜は先発し、聖光学院と試合がかったと胸を張った。「自分が抑えなかった」と悔しさをにじませた。今夏は背番号「18」を授けられ、全6試合中4試合に登板。東日本大会との2回戦では完投するな線を目指し、外角中心の球を投げてきた。球速アップは先頭打者に三塁打を浴び、二ゴロの間に先制点。静さを失わず、最少得点に抑えた。五回、安打や



【会津北嶺・聖光学院】5回裏、マウンドを降りる会津北嶺の関根(左)

リード奪い最高潮に 北嶺スタンド



5回表、五十嵐の勝ち越し打に沸く会津北嶺の控え選手ら

準優勝の会津北嶺に対しては主将五十嵐悠斗に賞状、佐藤龍斗に準優勝盾を贈った。

準優勝メダルを受ける会津北嶺ナイン



会津北嶺の三塁手関根恒喜は、初4強入りを果たした。2年前の大会で主将を務めた原太一さん(19)は、東北学院大2年。九回の攻撃前に「盛り上がり足りない」と声を